

# 未来こい！ネット通信

第18号

2022年8月19日

発行者 出雲市伊野地区

「未来こい！ネット」



ソバの種まき。学生を含め地区内外から40人が参加した。

島大生5人が8月上旬の6日間、垂水邸に泊まり込んで伊野のまちづくりについて聞き取り調査をした。  
未来こい！ネット農水部会が主催する耕作放棄地復活プロジェクトのソバの種まきや地合定置網漁業などを体験した成果を踏まえて、伊野のまちづくりについて提案をまとめあげた。

## 島大生 伊野体験

### 県議会議員の前で再発表

島根大学でキャリア教育を専門とし、人材育成・キャリアデザイン部門長・准教授の丸山実子と申します。

この度、8月5～10日まで、本学の授業「中山間地域フィールド演習」(集中講義)において伊野地区の皆様には大変お世話になりました。

宿泊場所を垂水邸、学びと報告会の場として伊野コミュニティセンターを提供して頂き、6日間泊まり込みでのフィールドワークを实践させて頂きました。

途中、おいしい伊野地区のお野菜・果物・お米を頂き、学生自身で調理し、身も心も胃袋も伊野づくしとなり、食で疲れが癒されました。

深夜には漁船乗務に挑戦し、定置網漁業を目の当たりにし、畑・山・川・海という広範囲で

の学びを提供して頂きました。また、平田ケーブルTVにも出演させて頂き学生が大喜びでした。蒔いたお蕎麦を収穫できるので12月頃学生を連れて参りますので宜しくお願い致します。

こうした素晴らしいフィールドで教育の場をご提供頂いたことに感謝し、もっと多くの方の目と耳に入って頂けないだろうか？と私たちは考えました。

そこで、今後、5名の島根大学生が最終報告会で発表したことを、県議会議員の方の前で発表させて頂く予定です。

伊野地区の良さ・学生からみた課題と提案を伝えていく役割を学生がしっかりと行いたいと思いますので、またの温かいご支援をお願い申し上げます。

その前にも、ひょっこり学生が何うこともあるかもしれませんが、重ねて宜しくお願い致します。大変お世話になりました。ありがとうございました。



定置網漁体験 (地合沖)



魚の仕分けを見学



民家でピザランチ